

核蛋白による更年期障害 QOL に与える影響

The effect of Nucleoprotein related to the quality of life for menopausal patient.

○吉田 文人¹⁾, 浜田 雄介¹⁾, 井上 太一¹⁾, 阿部 良一¹⁾,
宇住 晃治¹⁾, 李 蓉²⁾, 斉藤 俊一³⁾, 松永 政司¹⁾

1) NP0 法人遺伝子栄養学研究所, 2) 中国国立食品栄養研究所, 3) 日産化学工業株式会社

As a complementary and alternative medicine for hormone treatment against menopausal symptom, we have researched how intake of nucleoprotein improves their quality of life. We asked 25 postmenopausal women (average 57.3 years old) to intake 6 capsules of nucleoprotein per day for 60 days and measured their Kuppermann index. The number improved significantly to 9.48 from 14.25.

【目的】

近年、若年層での更年期障害の発現や、ホルモン補充療法が乳がんの原因になることなどから代替療法に対する期待が高まっている。われわれは、核蛋白が多く基礎代謝にかかわる症例に対し有効であることを研究し発表してきている。閉経を迎えた 25 名の女性を対照に更年期障害の核蛋白摂取による症状の改善を、クッパーマン・インデックスにより評価した。

【方法】

53 歳から 68 歳の閉経後の女性（平均 57.3 歳）25 名に対し、核蛋白入りカプセル（1 カプセル当り、鮭白子由来核蛋白酵素分解物 166mg, ビタミン C84mg, ほか）を作り、6 カプセル／1 日を 60 日間摂取してもらい、使用前及び使用後のクッパーマン・インデックス及び血液成分の変化をモニターからの聞き取りと血液採取で行った。

【結果】

クッパーマン・インデックスの結果は次のとおりであった。

(100－摂取後インデックス／摂取前インデックス×100)

	改善率		改善率
①血管運動障害	33%	⑥目眩	67%
②知覚障害様症状	56%	⑦全身倦怠	36%
③不眠	37%	⑧関節痛・筋肉痛	25%
④神経質	21%	⑨頭痛	50%
⑤憂鬱	40%	⑩心悸更新	62%
		平均	42.7%

【結論及び考察】

核蛋白食は、更年期障害の改善に有効であることが示唆された。今後は、二重盲検試験、作用機作について更に研究を行う予定である。